

ご使用に際して、この添付文書を必ずお読みください。
又、必要な時に読めるように大切に保管してください。

ダイアスター[®]注入軟膏

第2類医薬品

外用痔疾用薬

- ◆痔は、肛門の内側と外側に、はれやかゆみ、出血をとまう病気です。
- ◆**ダイアスター注入軟膏**は抗炎症作用のあるプレドニゾン酢酸エステルに痛み・かゆみをしずめるリドカイン、傷の治りを助けるアラントイン、肛門部の血行を促進するトコフェロール酢酸エステルを配合しました。
- ◆肛門の内側と外側の両方の痔に使用できる携帯に便利な注入式軟膏です。

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる）

1. 次の人は使用しないこと

- (1) 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 患部が化膿している人。

2. 長期連用しないこと

■ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦または妊娠していると思われる人。
- (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ
その他	刺激感、化膿

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

3. 10日間位使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

〔効能・効果〕

きれ痔(さけ痔)・いぼ痔の痛み・かゆみ・はれ・出血の緩和

〔用法・用量〕

- ノズル部分を肛門内に挿入し、全量をゆっくり注入してください。(肛門内に注入する場合)

年 齢	1 回量	1 日使用回数
成人(15歳以上)	1 個	1～2 回
15歳未満	使用しないこと	

または

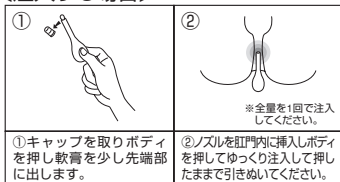
- 次の量を肛門部に塗布してください。なお、一度塗布に使用したものは、注入には使用しないでください。(肛門部に塗布する場合)

年 齢	1 回量	1 日使用回数
成人(15歳以上)	適量	1～3 回
15歳未満	使用しないこと	

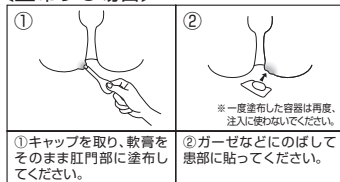
(用法・用量に関連する注意)

- (1) 肛門部にのみ使用してください。
- (2) 肛門内に注入する場合、ノズル部分のみを挿入して使用してください。
- (3) 用法・用量を厳守してください。

〔注入する場合〕



〔塗布する場合〕



●本製品は注入式のため容器に軟膏が少し残りますが、残量を見込んで充てています。また、寒い時期や低温で保管した場合は、軟膏が硬くなり、出しにくくなりますが手の中で容器を握って暖めると軟らかく出しやすくなります。

〔成分・分量〕

1個(2g)中

はたらき	成分	分量
抗炎症作用で、出血、はれ、かゆみをしずめます。	プレドニゾロン酢酸エステル	1mg
患部の痛み、かゆみをしずめます。	リドカイン	60mg
傷の治りをたすけ、組織を修復します。	アラントイン	20mg
血行をよくし、うっ血の改善をたすけます。	トコフェロール酢酸エステル	50mg

添加物として流動パラフィン、モノステアリン酸グリセリン、縮合リシノレイン酸ポリグリセリル、白色ワセリンを含有します。

保管および取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください(誤用の原因になったり品質が変わります)。
- (4) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。開封後は品質保持のため、なるべく早く使用してください。
- (5) 使用済みの容器は、トイレに流さないでください。

痔治療のポイント

1. トイレでは無理にいきまず3分以内を心がけましょう。排便後は温水便座や消毒薬で清潔にしましょう。ペーパーで強くこすらないようにしましょう。
2. 便通をよくするために規則正しい生活と運動をしましょう。野菜や繊維質を多くとりお酒や刺激物をひかえましょう。
3. 患部を清潔にするため毎日の入浴を心がけましょう。入浴中は、おしりに負担のないリラックした姿勢で。



本製品についてのお問い合わせは、お買い求めの店又は下記にお願いします。

万協製薬株式会社「お客様相談室」

電話 0598-37-2088

受付時間 AM10:00～PM5:00(ただし、土、日、祝祭日を除きます。)

副作用被害救済制度の問合せ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)